

住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要 (7月豪雨・他県市等の実施結果)

兵庫県「災害時における住民避難行動に関する検討会」(第2回)

平成31年1月8日(火)

既往アンケート調査の概況(7月豪雨)

1. 避難の状況

○ 7月豪雨時に避難行動をとった人の割合は、調査の対象地域や対象者等によって異なるが、概ね次のとおり。

- 避難行動をとった人の割合: 14.7% (最小) ~ 40% (最大)
- うち水平避難(自宅以外の避難所等への避難)の割合: 3.6% (最小) ~ 14.5% (最大)
- うち垂直避難(自宅の上階等への避難)の割合: 7.6% (最小) ~ 35% (最大)

※ 土砂災害では水平避難、浸水害では垂直避難の割合が高くなる傾向か。

■ 7月豪雨に係る住民避難アンケート調査結果 (各調査の概要は別添資料参照)

調査主体	環境防災総合政策研究機構				静岡大学 牛山教授	広島市	県立広島大院 江口教授	神戸新聞
調査対象	広島、岡山、愛媛の各県 (避難勧告発令対象地区)				広島、岡山、福岡の各県 (特別警報発表地区)	広島市 (土砂災害警戒区域等居住者)	広島市 (ネットモニター)	兵庫県内外 (指示・勧告後の行動)
回答者数	900人	300人	300人	300人	557人	858人	871人	848人
避難行動をとった人の割合	23.4%	14.7%	29.7%	25.7%	-	22.1%	-	40%
水平避難	5.7%	4.0%	6.0%	7.0%	6.6%	14.5%	3.6%	5%
垂直避難	17.7%	10.7%	23.7%	18.7%	-	7.6%	-	35%
別添資料No.	No.1				No.3	No.4	No.5	No.6

(注) 7月豪雨後、研究機関・大学・マスコミ・自治体などが住民を対象に、避難行動に関する各種アンケート調査を実施。これまでに調査結果が判明(公表)したものについて整理した(次頁以降同じ)。

既往アンケート調査の概況（7月豪雨）

2. 避難した主な理由

- 既往アンケート調査結果によると、**避難した主な理由は、概ね次の3つに集約**される。
- ① **避難勧告・指示等の発令**（特別警報・警報の発表等を含む）
 - ② **周辺の環境変化**（雨の降り方や河川の水位等）
 - ③ **人からの声掛け・近隣住民の避難**（声掛けは、家族・親戚・近隣の人・消防団・自主防災組織等）
- 「**人からの声掛け・近隣住民の避難**」の割合も比較的高く、身近な人の声掛け等も有効。

■ 7月豪雨に係る住民避難アンケート調査結果（各文献の回答データをもとに、類似する項目は合わせて上記区分で整理した）

調査主体	環境防災総合政策研究機構	NHK	広島市		県立広島大院 江口教授	神戸新聞
調査対象	広島、岡山、愛媛の各県 (避難勧告発令対象地区)	広島、岡山、愛媛の各県 (被災者)	広島市 (土砂災害警戒区域等居住者)		広島市 (ネットモニター)	神戸市灘区 篠原台 (土石流発生地区住民)
回答者数	421人	310人	190人		31人	51世帯
回答形式	複数回答	単数回答	複数回答	単数回答	複数回答	複数回答
質問	避難を考えるきっかけは？	最初に避難するきっかけは？	避難した理由は？	避難の決め手となった理由は？	避難したきっかけは？	避難したきっかけは？
避難した理由 (多し順)	1 避難勧告・指示等の発令 67.2%	周辺の環境変化 33.5%	避難勧告・指示等の発令 147.9%	周辺の環境変化 28.9%	避難勧告・指示等の発令 84.3%	周辺の環境変化 47.1%
	2 周辺の環境変化 52.5%	人からの声掛け・近隣住民の避難 31.8%	周辺の環境変化 80.0%	人からの声掛け・近隣住民の避難 22.7%	周辺の環境変化 70.9%	人からの声掛け・近隣住民の避難 37.3%
	3 人からの声掛け・近隣住民の避難 24.7%	避難勧告・指示等の発令 11.9%	人からの声掛け・近隣住民の避難 61.6%	避難勧告・指示等の発令 13.2%	人からの声掛け・近隣住民の避難 61.4%	避難勧告・指示等の発令 5.7%
	- その他 43.7%	その他 22.8%	その他 21.5%	その他 35.3%	その他 3.2%	-
別添資料No.	No. 1	No. 2	No. 4		No. 5	No. 7

(注) 複数回答の場合は、複数問答を上記区分でまとめたため、100%を超える場合がある。

既往アンケート調査の概況（7月豪雨）

3. 避難しなかった主な理由

- 既往アンケート調査結果によると、**避難しなかった主な理由は、概ね次の5つに集約**される。
- ① **自宅にるのが安全と判断**【自己判断】
 - ② **人からの声掛けなし・近隣住民が避難していなかった**【同調性バイアス】
 - ③ **被害に遭うと思わなかった・被害にあったことがない**【正常性バイアス】
 - ④ **避難勧告・指示の発令なし・発令の認識なし**
 - ⑤ **避難に課題・支障**（大雨等で道中が危険、要援護者（自身又は家族）、避難所が遠い等）

■ 7月豪雨に係る住民避難アンケート調査結果（各文献の回答データをもとに、類似する項目は合わせて上記区分で整理した）

調査主体	環境防災総合政策研究機構	静岡大学 牛山教授		広島市		県立広島大院 江口教授
調査対象	広島、岡山、愛媛の各県 (避難勧告発令対象地区)	広島、岡山、福岡の各県 (特別警報発表地区)		広島市 (土砂災害警戒区域等居住者)		広島市 (ネットモニター)
回答者数	849人	537人		632人		623人
回答形式	複数回答	複数回答	単数回答	複数回答	単数回答	複数回答
質問	その場にいる理由は？	自宅以外の場所へ避難しなかった理由は？	自宅以外の場所へ避難しなかった決め手は？	避難しなかった理由は？	避難しなかった決め手となった理由は？	避難しなかった理由は？
避難しなかった理由 (多し順)	1 被害に遭うと思わなかった 47.6%	被害に遭うと思わなかった 306.1%	被害に遭うと思わなかった 55.5%	自宅にるのが安全と判断 94.3%	被害に遭うと思わなかった 19.4%	被害に遭うと思わなかった 78.9%
	2 避難に課題・支障 22.8%	自宅にるのが安全と判断 183.2%	自宅にるのが安全と判断 17.0%	被害に遭うと思わなかった 91.3%	自宅にるのが安全と判断 19.3%	自宅にるのが安全と判断 41.1%
	3 自宅にるのが安全と判断 18.7%	声掛け・近隣住民避難なし 125.4%	避難に課題・支障 14.5%	避難に課題・支障 60.3%	避難に課題・支障 12.8%	声掛け・近隣住民避難なし 40.3%
	4 声掛け・近隣住民避難なし 11.5%	避難に課題・支障 83.8%	声掛け・近隣住民避難なし 2.5%	声掛け・近隣住民避難なし 49.2%	声掛け・近隣住民避難なし 4.4%	避難勧告・指示の発令・認識なし 35.1%
	5 -	避難勧告・指示の発令・認識なし 32.0%	避難勧告・指示の発令・認識なし 2.0%	避難勧告・指示の発令・認識なし 4.9%	避難勧告・指示の発令・認識なし 0.6%	避難に課題・支障 18.0%
- その他 40.8%	その他 9.5%	その他 8.6%	その他 29.1%	その他 43.3%	その他 12.8%	
別添資料No.	No. 1	No.3		No.4		No.5

(注) 複数回答の場合は、複数問答を上記区分でまとめたため、100%を超える場合がある。

既往アンケート調査の概況（7月豪雨）

4. その他避難行動に関して判明した主な事項

- 年代別の避難行動** [環境防災総合研究機構の調査結果(6～7頁)]
 - 年代が上がるにつれ、避難行動をとった人は減少。**
 - 20～39歳： 垂直避難25.3%、水平避難9.3%
 - 40～59歳： 垂直避難16.7%、水平避難5.0%
 - 60歳以上： 垂直避難11.0%、水平避難2.7%
 - 年代が上がるにつれ、「避難することは考えなかった」と回答した人は増加。**
 - 20～39歳： 18.0%
 - 40～59歳： 34.0%
 - 60歳以上： 40.1%
- 避難情報の入手手段** [環境防災総合研究機構の調査結果(8頁)、広島市の調査結果(16～17頁)]
 - テレビが最も高く、緊急速報メール、自治体登録制メールなどでの入手の割合が高い。**
 - 年代が上がるにつれ、テレビでの入手割合が高くなる。高齢層では地域・家族などからの声かけ・電話連絡の割合も高い。**
- 災害が直面しそうな時に心配になること** [環境防災総合研究機構の調査結果(9頁)]
 - 「避難するタイミング」「地域の危険性」が分からないが多い。**
 - 「避難するタイミング」(42.1%)、「地域の危険性」(38.3%)、「避難すべき場所」(15.2%)、「子供や高齢者などの安全確保や避難支援」(13.2%)など
- 災害への備えと避難行動** [広島市の調査結果(15頁)]
 - 防災マップ、避難場所・経路の確認や、防災メールの登録など備えをしていた人は、していなかった人に比べて、避難した割合が高い。**
 - わがまち防災マップの確認： していた人の避難39.5%、していなかった人の避難32.6%（6.9ポイントの差）
 - ハザードマップの確認： していた人の避難43.7%、していなかった人の避難29.5%（14.2ポイントの差）
 - 避難場所の確認： していた人の避難85.3%、していなかった人の避難7.9%（77.4ポイントの差）
 - 避難経路の確認： していた人の避難58.9%、していなかった人の避難28.4%（30.5ポイントの差）
 - 広島市防災メールの登録： していた人の避難41.6%、していなかった人の避難31.6%（10.0ポイントの差）

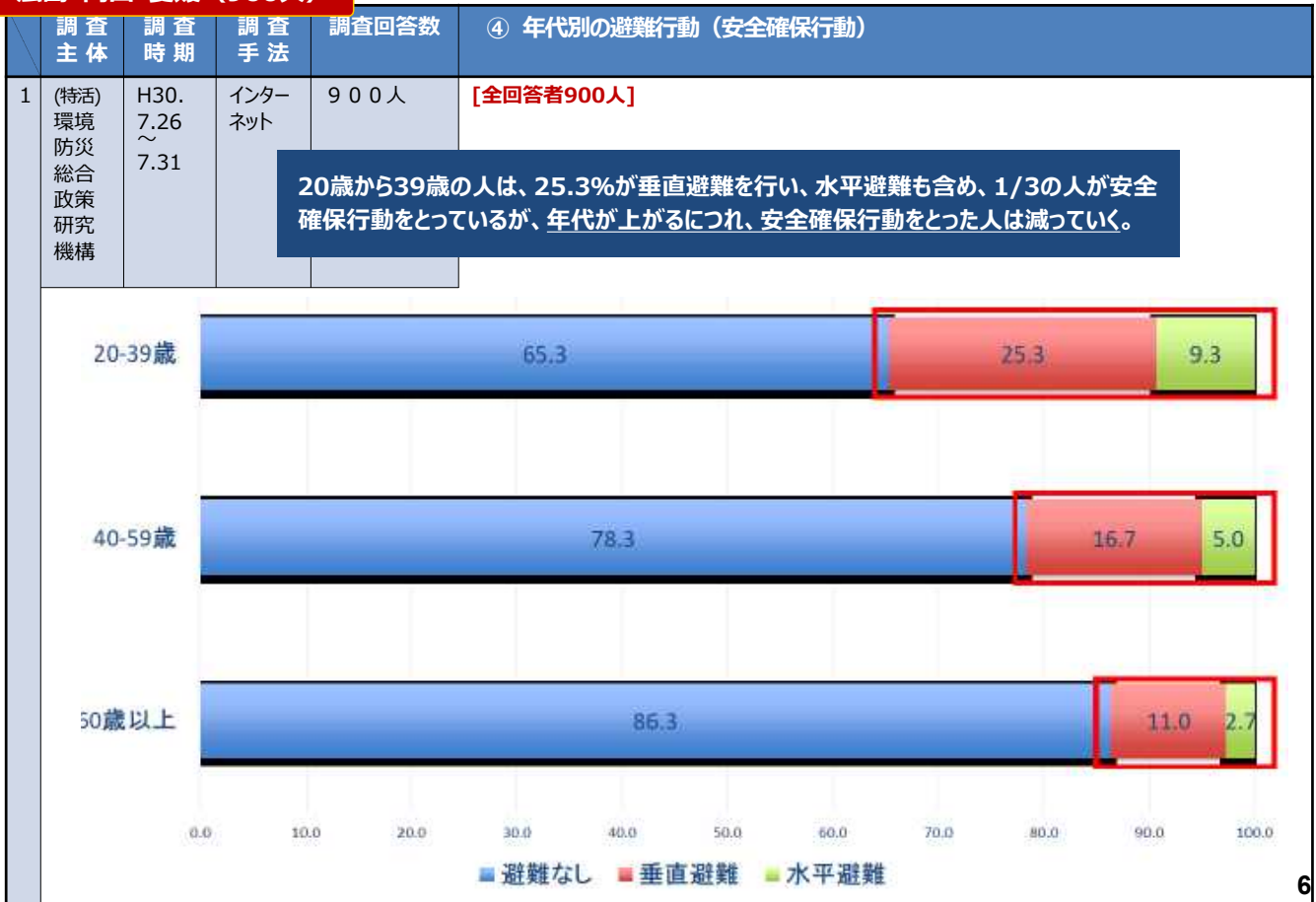
住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）

広島・岡山・愛媛（900人）

調査主体	調査時期	調査手法	調査回答数	① 避難行動等 (最初にとった避難行動)	② 避難を考えるきっかけ (左欄⑤以外、右欄②以外の人)	③ その場にいた理由 (その場にいたと回答した人)															
1 (特活) 環境防災総合政策研究機構	H30.7.26～7.31	インターネット	900人	(単数回答) [900人] ①市区町村の指定避難場所へ避難 3.0% ②指定避難場所でない、市区町村内の安全な場所へ避難 2.1% ③近隣の市区町村へ避難 0.6% ④県を超えて避難 0.0% ⑤ その場にいた 94.3% 計 100.0%	(複数回答) [421人] ①避難勧告・指示が発令されたから 26.6% ②近くの河川が氾濫した/しそだったから 18.5% ③大雨特別警報が発表されたから 18.3% ④雨の降り方が激しかったから 16.9% ⑤自治体から避難を呼びかけられたから 13.5% ⑥大雨注意報や警報が発表されたから 8.8% ⑦近くで土砂災害が発生した/しそだったから 7.6% ⑧近くまで浸水してきたから 7.4% ⑨同居家族が避難しようと言ったから 6.2% ⑩自治会・町内会・自主防災組織・消防団の人から避難を呼びかけられたから 6.2% ⑪近隣の人から避難を呼びかけられたから 5.2% ⑫近隣の人が避難していたから 5.0% ⑬遠方の家族や友人から避難するよう勧められたから 2.1% ⑭自宅にいられなくなった 2.1% ⑮上記にあてはまるものはない 43.7%	(複数回答) [849人] ①避難しなくても大丈夫と思ったから 47.6% ②避難することは考えなかった 31.0% ③ 2階以上など、その場で安全な場所に移動したから 18.7% ④大雨が降っていたから 13.3% ⑤近所の人や家族が避難してなかったから 11.5% ⑥その他 9.8% ⑦外が避難できる状況ではなかったから 5.1% ⑧避難困難な人がいたから 2.5% ⑨自分や家族が家を出ることを嫌がったから 1.4% ⑩自分や家族が避難先で過ごすことを嫌がったから 0.5%															
■ 避難行動をとった人の比率 (■ 水平避難 ■ 垂直避難)				<table border="1"> <caption>避難行動をとった人の比率</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>水平避難</th> <th>垂直避難</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体 (n=900)</td> <td>5.7%</td> <td>17.7%</td> </tr> <tr> <td>愛媛県 (n=300)</td> <td>4.0%</td> <td>10.7%</td> </tr> <tr> <td>岡山県 (n=300)</td> <td>6.0%</td> <td>23.7%</td> </tr> <tr> <td>広島県 (n=300)</td> <td>7.0%</td> <td>18.7%</td> </tr> </tbody> </table>			対象	水平避難	垂直避難	全体 (n=900)	5.7%	17.7%	愛媛県 (n=300)	4.0%	10.7%	岡山県 (n=300)	6.0%	23.7%	広島県 (n=300)	7.0%	18.7%
対象	水平避難	垂直避難																			
全体 (n=900)	5.7%	17.7%																			
愛媛県 (n=300)	4.0%	10.7%																			
岡山県 (n=300)	6.0%	23.7%																			
広島県 (n=300)	7.0%	18.7%																			
※ 広島県、岡山県、愛媛県の避難勧告発令市区町村の住民 900人 (各県とも300人) ※ 各県とも、20～30代100人、40～50代100人、60以上100人				※ 出典：特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構HP「平成30年7月 西日本豪雨災害アンケート調査結果の速報(概要)」より http://www.npo-cemi.com/																	

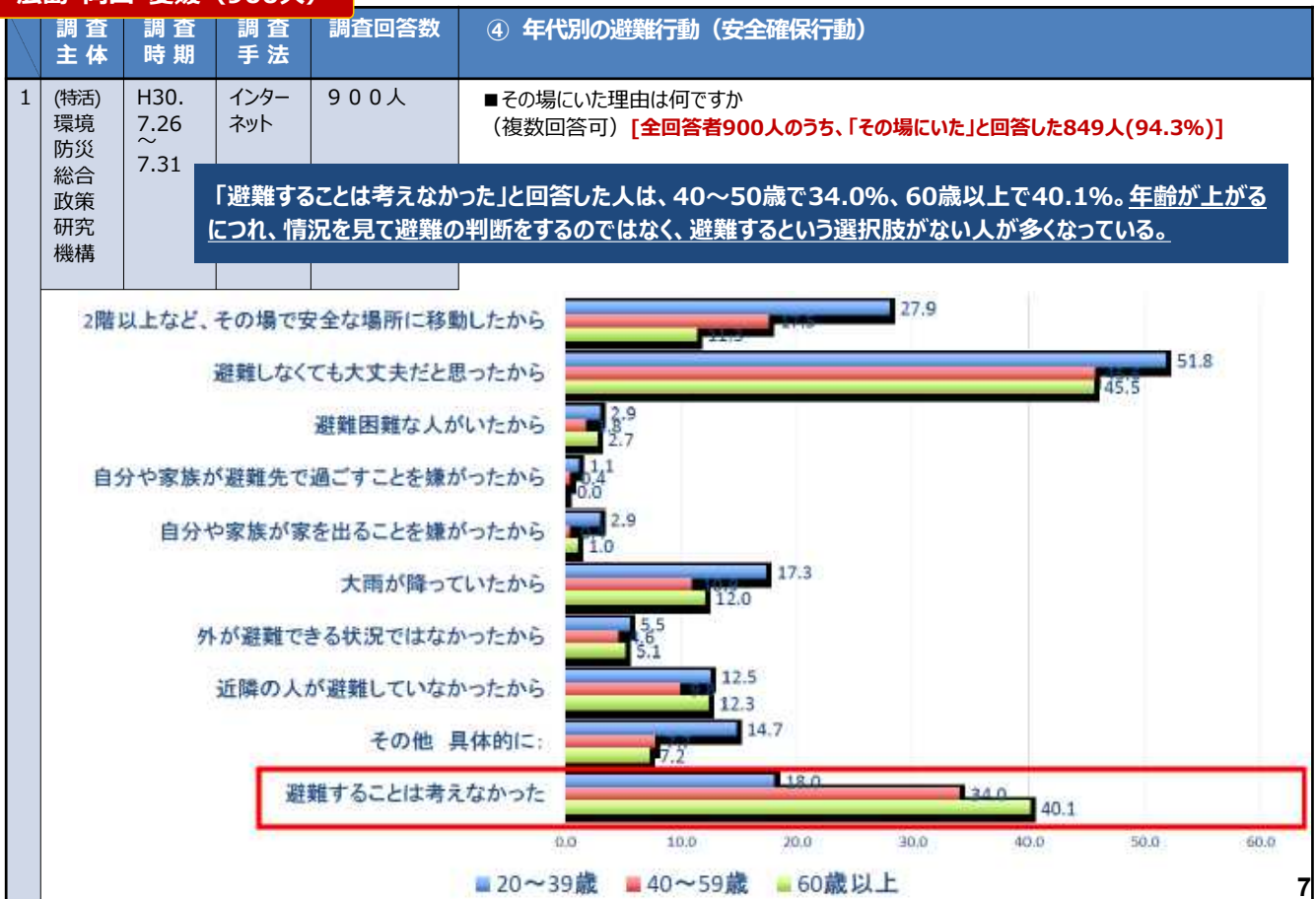
住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）

広島・岡山・愛媛（900人）



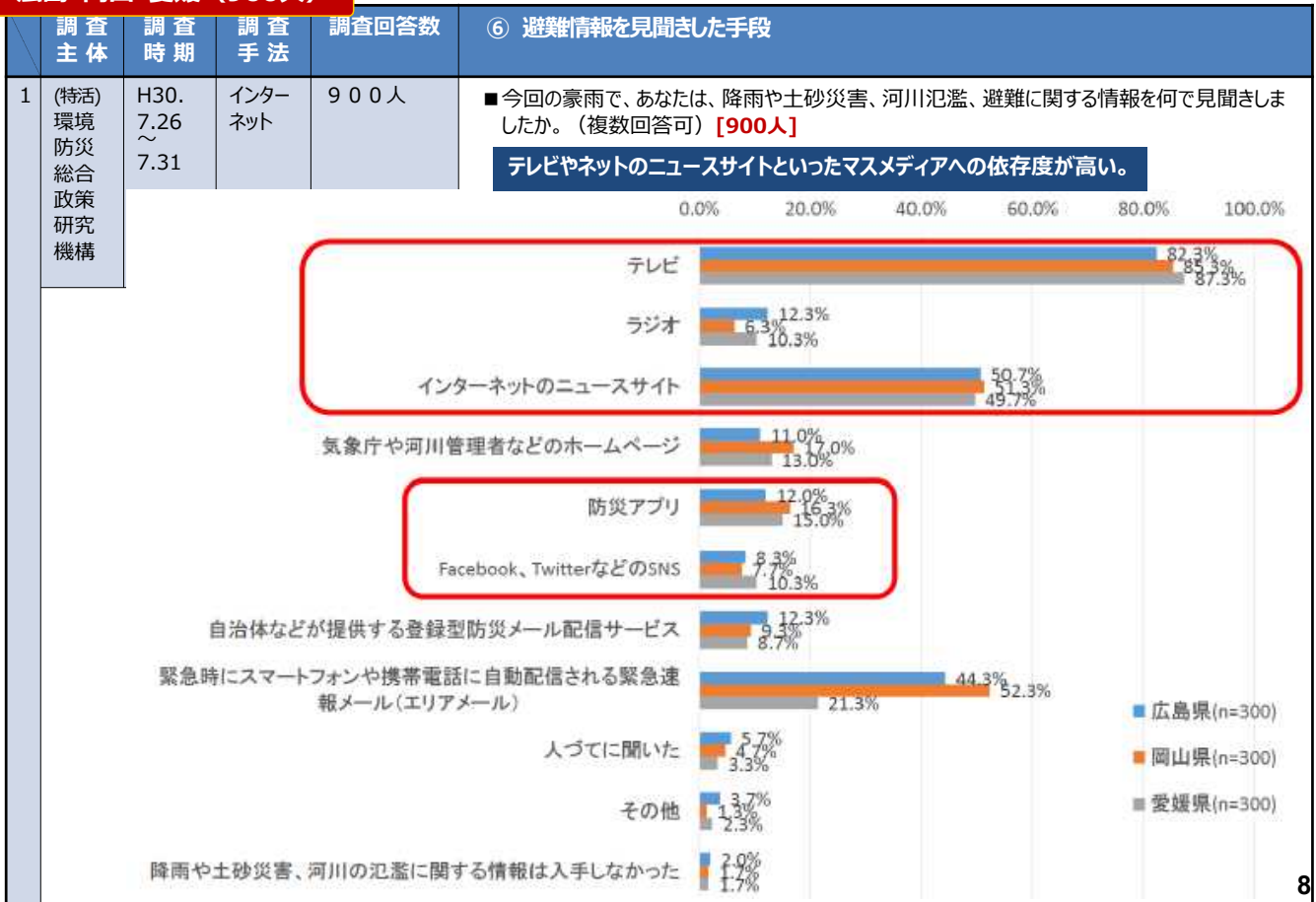
住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）

広島・岡山・愛媛（900人）



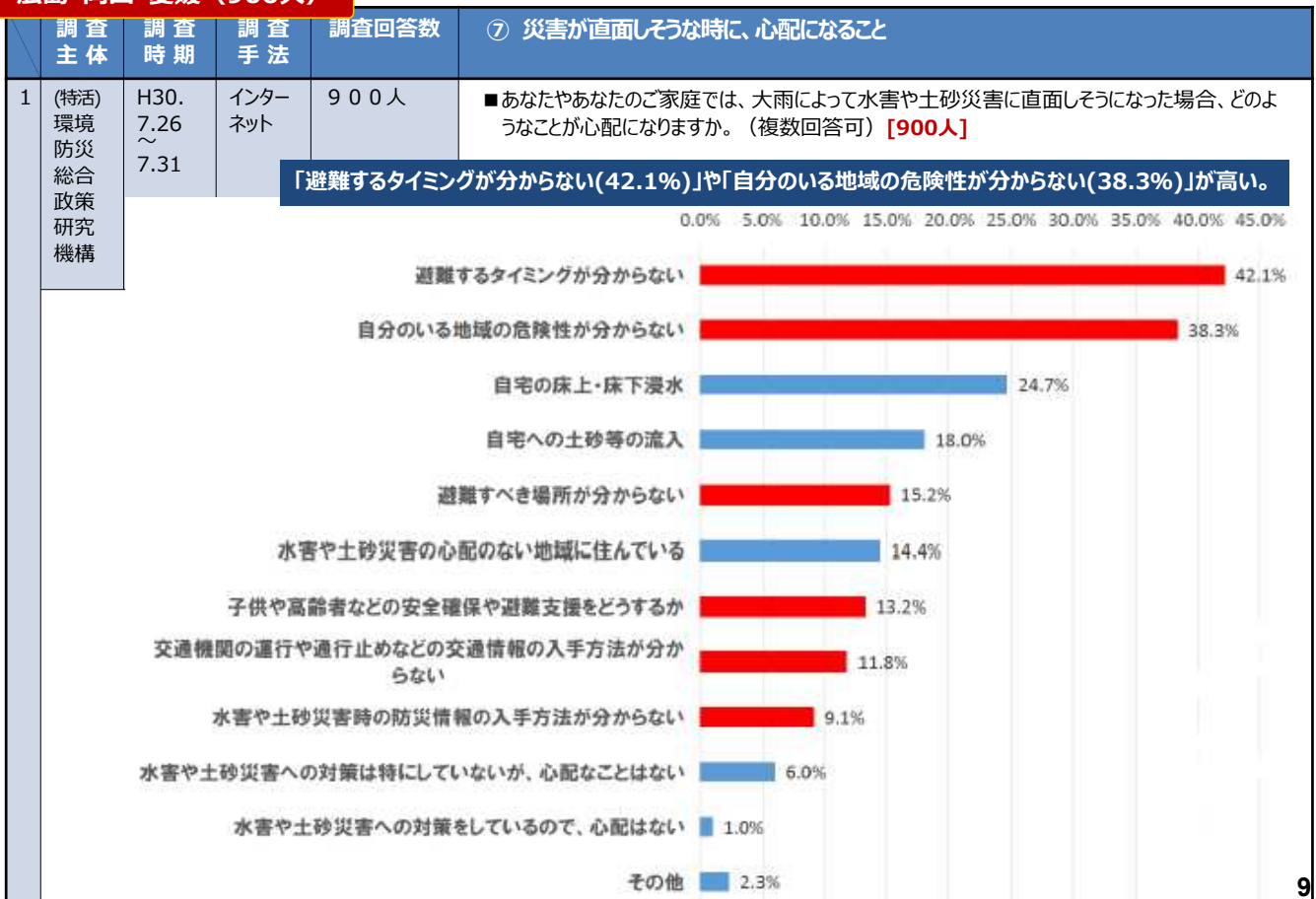
住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）

広島・岡山・愛媛（900人）



住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）

広島・岡山・愛媛（900人）



住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）

広島・岡山・愛媛（310人）

調査主体	調査時期	調査対象	① 避難した理由等	② 避難する際に参考にした情報
2 NHK	H30. 8月	広島県、岡山県、愛媛県の被災者 310人 対象	<p>■ 最初に避難するきっかけになったのは何か</p> <p>計 (100.0%)</p>	<p>■ 避難する際に参考にした情報は何か</p> <p>計 (100.0%)</p>

※出典：NHKWEB：「西日本豪雨 1か月「今後の住まいに不安 被災者アンケート」（2018年8月6日）
 ※円グラフは、平成30年12月12日開催・平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ(第3回)「参考資料3」16頁より
http://www.bousai.go.jp/fusuigai/suigai_dosyaworking/index.html

住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）

広島・岡山・福岡（557人）

調査主体	調査時期	調査手法	調査回答数	① 避難行動等	② 自宅以外の場所への避難をしなかった理由
3 静岡大学 牛山素行教授	H30. 7.20	民間調査会社登録モニターへのメール	岡山県、広島県、福岡県の557人 ※7月豪雨時の大雨特別警報発表地区在住者	<p>■ 行政によって決められている避難場所への避難</p> <p>(2択) [557人] ■ 行った ■ 行っていない</p> <p>※グラフ中の数値は回答者数</p>	<p>■ 避難場所以外の所（親戚・知人宅など）への避難</p> <p>(2択) [557人] ■ 行った ■ 行っていない</p> <p>※グラフ中の数値は回答者数</p>
<p>※ 調査手法 NTTコムリサーチ（NTTコムオンライン・マーケティング・ソリューション(株)）を利用し、同社の登録モニターに調査メールを配信、回答受。</p> <p>※ 調査対象(大雨特別警報発表地区在住者) ・岡山県：岡山市、倉敷市、総社市、早島町 ・広島県：広島市、呉市、坂町、海田町、府中町、熊野町 ・福岡県：福岡市</p>				<p>② 自宅以外の場所への避難をしなかった理由</p> <p>(2択) [557人] ■ 当てはまる ■ 当てはまらない</p>	

※出典：静岡大学 防災総合センター 牛山研究室HP
 「平成30年7月豪雨時の災害情報に関するアンケート(2018年7月実施)」
 【2018/8/3速報版・8/4一部修正】
 静岡大学防災総合センター 牛山素行
<http://disaster-i.net/>

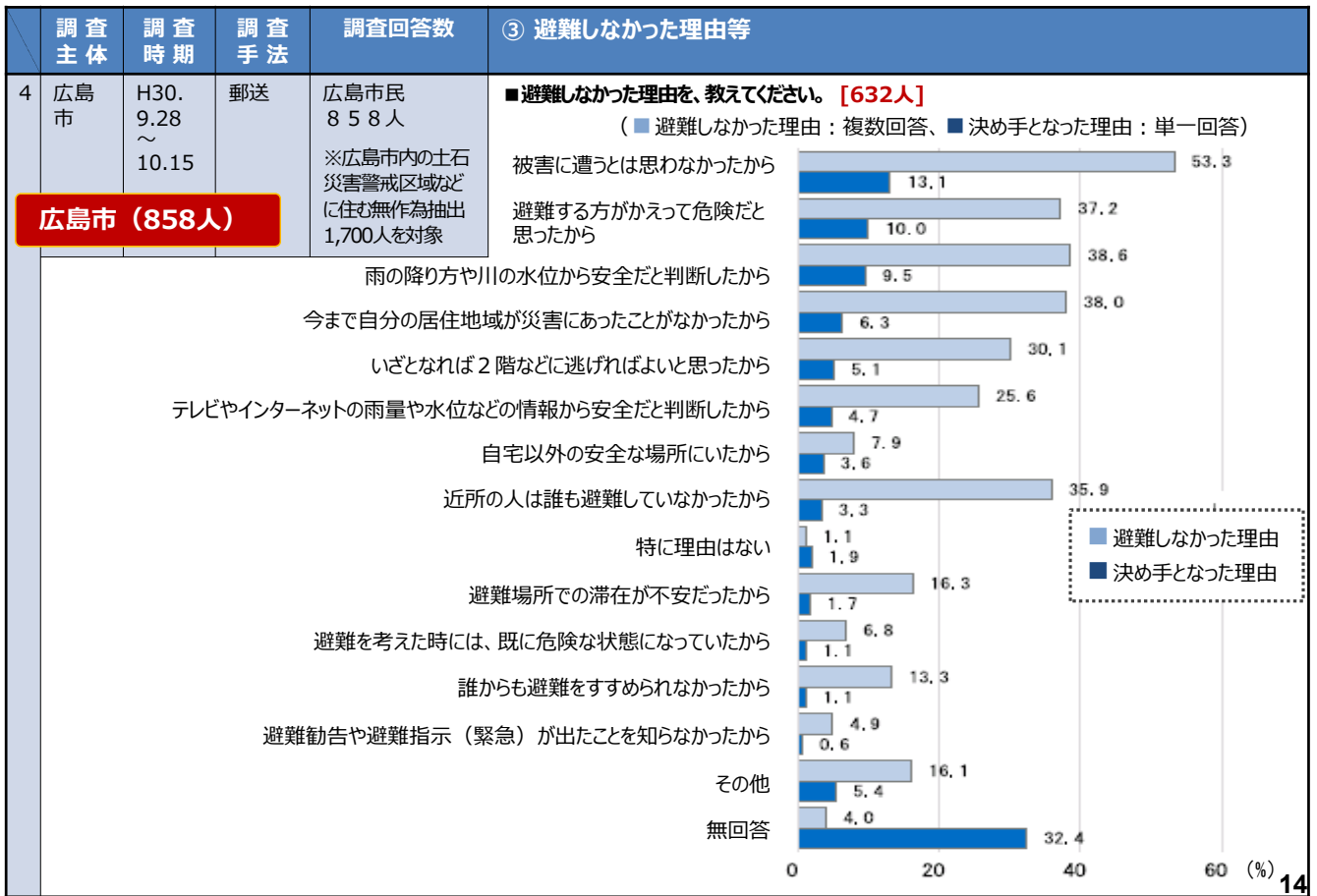
住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）

調査主体	調査時期	調査手法	調査回答数	① 避難行動等
4 広島市	H30.9.28～10.15	郵送	広島市民 858人 ※広島市内の土石災害警戒区域などに住む無作為抽出1,700人を対象	<p>■あなたは、最初にどこに避難しましたか？ [190人] 水平避難は14.5%(125人)、垂直避難は7.6%(65人) [全体に対する割合・人数]</p> <p>■あなたは、避難しましたか？ ここでいう「避難」とは、避難場所など自宅以外の安全な場所へ移動することのほか、自宅の上階などに移動した場合も含まれます。 [858人]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●避難した 22.1%(190) ●避難しなかった 73.7%(632) ●無回答 4.2%(36) <p>計 100.0%(858)</p> <p>■自宅の上層に避難した理由を教えてください。 [65人]（複数回答可）</p> <p>※出典：広島市HP 平成30年7月豪雨災害における避難対策等検証会議 最終報告 [H30.12.27] 資料編・資料4「平成30年7月豪雨の避難行動に関する調査結果」より http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1545894528873/index.html</p>

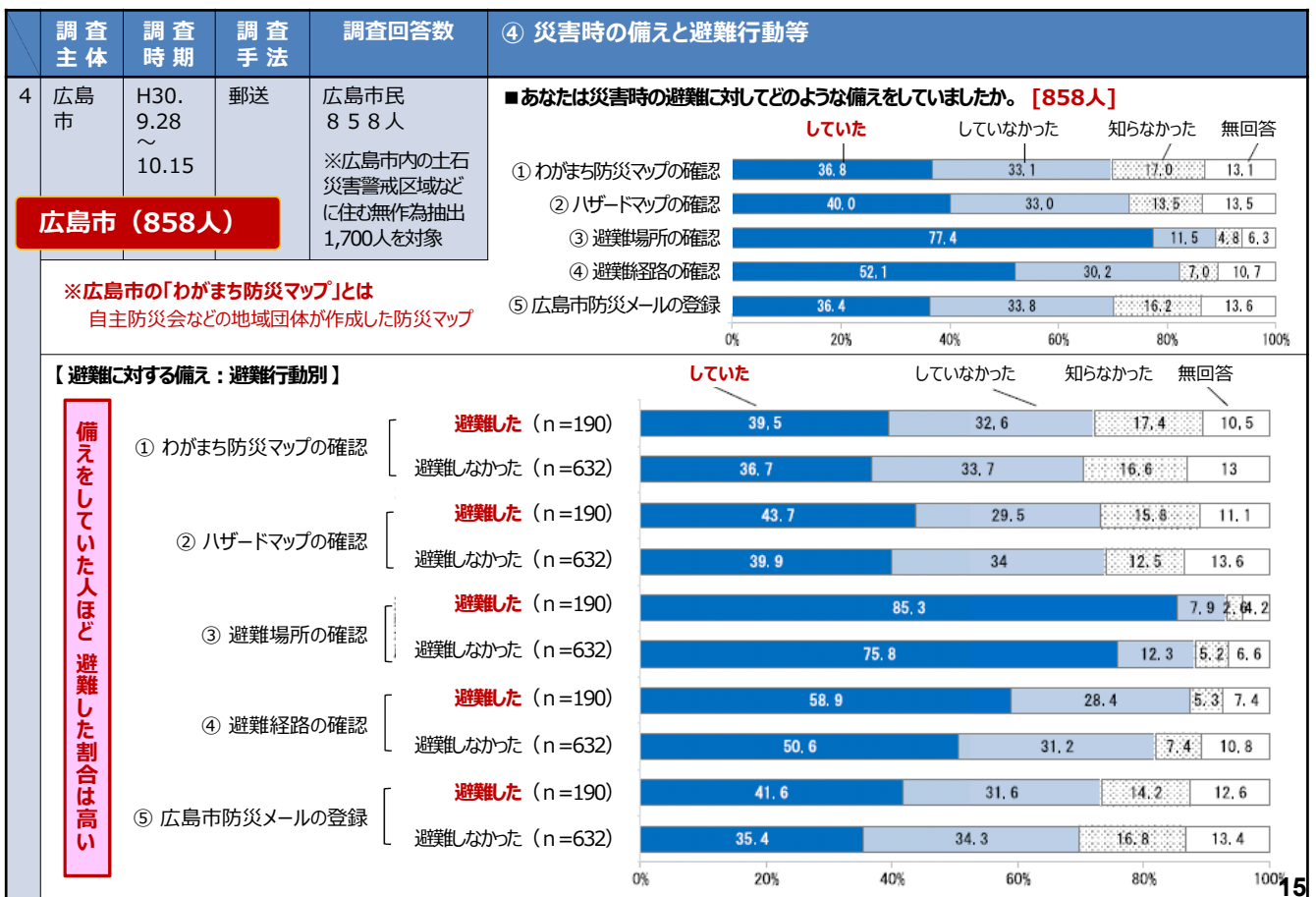
住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）

調査主体	調査時期	調査手法	調査回答数	② 避難した理由等
4 広島市	H30.9.28～10.15	郵送	広島市民 858人 ※広島市内の土石災害警戒区域などに住む無作為抽出1,700人を対象	<p>■あなたが避難した理由を、教えてください。 [190人] (■ 避難した理由：複数回答、■ 決め手となった理由：単一回答)</p>

住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）



住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）



住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）



住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）

調査主体	調査時期	調査手法	調査回答数	⑥ 年代別の避難情報を入手した伝達方法の実態																																																																																																																																															
広島市	H30.9.28～10.15	郵送	広島市民 858人	<p>n = 「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難警告」、「避難指示（緊急）」の各避難情報を入手した伝達方法として回答があったもの、全てを合算したもの。</p>																																																																																																																																															
<p>広島市（858人）</p>				<table border="1"> <thead> <tr> <th>(n)</th> <th>39歳以下 (194)</th> <th>40歳代 (418)</th> <th>50歳代 (588)</th> <th>60歳代 (1009)</th> <th>70歳代 (1223)</th> <th>80歳以上 (440)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テレビ（一般放送）</td> <td>(1,295)</td> <td>25.8</td> <td>26.1</td> <td>31.0</td> <td>35.4</td> <td>35.7</td> <td>36.6</td> </tr> <tr> <td>テレビ（データ放送）</td> <td>(192)</td> <td>7.2</td> <td>4.5</td> <td>4.8</td> <td>6.0</td> <td>4.6</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>ラジオ</td> <td>(120)</td> <td>3.1</td> <td>1.4</td> <td>2.9</td> <td>2.9</td> <td>3.8</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>市防災情報メール</td> <td>(399)</td> <td>15.5</td> <td>14.4</td> <td>11.7</td> <td>12.1</td> <td>7.4</td> <td>6.4</td> </tr> <tr> <td>緊急速報メール</td> <td>(507)</td> <td>19.6</td> <td>19.1</td> <td>13.9</td> <td>15.2</td> <td>10.1</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>屋外スピーカー</td> <td>(195)</td> <td>3.1</td> <td>3.3</td> <td>6.0</td> <td>4.1</td> <td>5.8</td> <td>6.4</td> </tr> <tr> <td>サイレン</td> <td>(75)</td> <td>0.0</td> <td>1.9</td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>2.6</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>屋内受信機（広島市）</td> <td>(120)</td> <td>0.0</td> <td>1.4</td> <td>0.9</td> <td>2.0</td> <td>5.2</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>防災受信機（ちゅぴcom）</td> <td>(48)</td> <td>1.5</td> <td>0.0</td> <td>0.3</td> <td>1.4</td> <td>2.1</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>インターネット（市ホームページなど）</td> <td>(52)</td> <td>0.0</td> <td>4.1</td> <td>1.9</td> <td>1.0</td> <td>0.9</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>インターネット（市防災ポータル）</td> <td>(61)</td> <td>2.1</td> <td>2.9</td> <td>3.2</td> <td>0.7</td> <td>1.1</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>ツイッター</td> <td>(20)</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td>1.7</td> <td>0.2</td> <td>0.0</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>フェイスブック</td> <td>(210)</td> <td>2.6</td> <td>0.0</td> <td>0.7</td> <td>0.1</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>防災関係アプリ</td> <td>(165)</td> <td>10.3</td> <td>6.5</td> <td>8.2</td> <td>3.5</td> <td>2.3</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>地域の方などからの声かけ・電話連絡</td> <td>(307)</td> <td>2.6</td> <td>5.7</td> <td>6.5</td> <td>7.1</td> <td>10.1</td> <td>10.2</td> </tr> <tr> <td>家族からの声かけ・電話連絡</td> <td>(233)</td> <td>4.1</td> <td>5.7</td> <td>3.6</td> <td>5.3</td> <td>6.3</td> <td>11.4</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>(73)</td> <td>1.5</td> <td>1.7</td> <td>1.5</td> <td>1.8</td> <td>2.2</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table>	(n)	39歳以下 (194)	40歳代 (418)	50歳代 (588)	60歳代 (1009)	70歳代 (1223)	80歳以上 (440)	テレビ（一般放送）	(1,295)	25.8	26.1	31.0	35.4	35.7	36.6	テレビ（データ放送）	(192)	7.2	4.5	4.8	6.0	4.6	3.2	ラジオ	(120)	3.1	1.4	2.9	2.9	3.8	3.4	市防災情報メール	(399)	15.5	14.4	11.7	12.1	7.4	6.4	緊急速報メール	(507)	19.6	19.1	13.9	15.2	10.1	7.0	屋外スピーカー	(195)	3.1	3.3	6.0	4.1	5.8	6.4	サイレン	(75)	0.0	1.9	1.4	1.4	2.6	3.0	屋内受信機（広島市）	(120)	0.0	1.4	0.9	2.0	5.2	5.9	防災受信機（ちゅぴcom）	(48)	1.5	0.0	0.3	1.4	2.1	0.7	インターネット（市ホームページなど）	(52)	0.0	4.1	1.9	1.0	0.9	0.7	インターネット（市防災ポータル）	(61)	2.1	2.9	3.2	0.7	1.1	1.4	ツイッター	(20)	1.0	1.2	1.7	0.2	0.0	0.2	フェイスブック	(210)	2.6	0.0	0.7	0.1	0.0	0.0	防災関係アプリ	(165)	10.3	6.5	8.2	3.5	2.3	1.6	地域の方などからの声かけ・電話連絡	(307)	2.6	5.7	6.5	7.1	10.1	10.2	家族からの声かけ・電話連絡	(233)	4.1	5.7	3.6	5.3	6.3	11.4	その他	(73)	1.5	1.7	1.5	1.8	2.2	2.0
(n)	39歳以下 (194)	40歳代 (418)	50歳代 (588)	60歳代 (1009)	70歳代 (1223)	80歳以上 (440)																																																																																																																																													
テレビ（一般放送）	(1,295)	25.8	26.1	31.0	35.4	35.7	36.6																																																																																																																																												
テレビ（データ放送）	(192)	7.2	4.5	4.8	6.0	4.6	3.2																																																																																																																																												
ラジオ	(120)	3.1	1.4	2.9	2.9	3.8	3.4																																																																																																																																												
市防災情報メール	(399)	15.5	14.4	11.7	12.1	7.4	6.4																																																																																																																																												
緊急速報メール	(507)	19.6	19.1	13.9	15.2	10.1	7.0																																																																																																																																												
屋外スピーカー	(195)	3.1	3.3	6.0	4.1	5.8	6.4																																																																																																																																												
サイレン	(75)	0.0	1.9	1.4	1.4	2.6	3.0																																																																																																																																												
屋内受信機（広島市）	(120)	0.0	1.4	0.9	2.0	5.2	5.9																																																																																																																																												
防災受信機（ちゅぴcom）	(48)	1.5	0.0	0.3	1.4	2.1	0.7																																																																																																																																												
インターネット（市ホームページなど）	(52)	0.0	4.1	1.9	1.0	0.9	0.7																																																																																																																																												
インターネット（市防災ポータル）	(61)	2.1	2.9	3.2	0.7	1.1	1.4																																																																																																																																												
ツイッター	(20)	1.0	1.2	1.7	0.2	0.0	0.2																																																																																																																																												
フェイスブック	(210)	2.6	0.0	0.7	0.1	0.0	0.0																																																																																																																																												
防災関係アプリ	(165)	10.3	6.5	8.2	3.5	2.3	1.6																																																																																																																																												
地域の方などからの声かけ・電話連絡	(307)	2.6	5.7	6.5	7.1	10.1	10.2																																																																																																																																												
家族からの声かけ・電話連絡	(233)	4.1	5.7	3.6	5.3	6.3	11.4																																																																																																																																												
その他	(73)	1.5	1.7	1.5	1.8	2.2	2.0																																																																																																																																												
<p>● テレビ（一般放送）での入手は各年齢層とも最も割合が高い。特に年齢が上がるほど高い。</p> <p>● 携帯・スマホなどによる市防災情報メールや緊急速報メールでの入手は、若年層ほど高い。しかし、高齢層でもある程度高い。</p> <p>● 高齢層では、屋内受信機のほか、地域や家族などからの声かけ・電話連絡の割合が高い。</p>																																																																																																																																																			

住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）

調査主体	調査時期	調査手法	調査回答数	① 避難行動等	② 避難した理由等	③ 避難しなかった理由等
5 県立広島大院 江口教授 ※協力(株)サベィインター	H30.7.19～7.20	インターネット	広島市民 871人 ※広島市内の成人男女1,000人のインターネットを対象	<p>■ これまでに経験したことの無いような大雨(特別警報)と聞いた時、避難したか？ [871人]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 避難した 3.6% (31) ● 避難しようとしたが、しなかった 24.9% (217) ● 避難する必要はないと考え、しなかった 71.5% (623) <p>計 100.0% (871)</p>	<p>■ 避難したきっかけは？ (複数回答) [31人]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 避難勧告・指示の発令 67.7% (21) ② 降雨状況を見て 38.7% (12) ③ 河川の水位状況を見て 29.0% (9) ④ 家族からの避難の呼びかけ 22.6% (7) ⑤ テレビやインターネット等での取り上げ 22.6% (7) ⑥ 近隣住民が避難したから 19.4% (6) ⑦ 近隣住民からの避難の呼びかけ 12.9% (4) ⑧ 自主防災組織からの避難の呼びかけ 6.5% (2) ⑨ 自宅への浸水や土砂流入 3.2% (1) ⑩ その他 3.2% (1) 	<p>■ 避難しなかった理由は？ (「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4択回答。「あてはまる」の回答) [623人]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自分の家は大丈夫だと思っていた 51.0% (318) ② 避難する緊急性を感じなかった 41.1% (256) ③ 近隣住民が避難していなかった 40.3% (251) ④ 避難指示が出ていなかった 33.7% (210) ⑤ 過去の経験から大きな被害はないと考えた 27.9% (174) ⑥ 深夜の避難は危険と考えた 18.0% (112) ⑦ どこに避難すればよいかわからなかった 6.9% (43) ⑧ 愛着のある家を離れることができなかった 5.9% (37) ⑨ 避難指示が出ていたことを知らなかった 1.4% (9) ⑩ 次に避難指示が出た場合、避難すると思う 8.5% (53)
<p>■ 「避難した(3.6% (31人))」方は、どこに避難したか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 指定された避難場所 48.4% (15) ● 親戚や知人の住宅 35.5% (11) ● 自宅の上階 - (-) ● その他 16.1% (5) <p>計 100.0% (31)</p>				<p>※出典：県立広島HP 「平成30年7月豪雨の避難意識と行動に関する調査」の結果(速報)より http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/48/hbms300801.html</p>		

18

住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）

調査主体	調査時期	調査手法	調査回答数	① 避難意識・行動等	② 避難した理由等	③ 避難しなかった理由等
6 神戸新聞	H30.7.12～7.15	インターネット	兵庫県内外の 848人 ※避難指示・勧告発令後の行動を選択式で	<p>■ 7月豪雨での避難行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 避難所に行った 5% ● 自宅内で避難した 35% ● 避難しなかった 53% ● 避難指示・勧告の対象区域と知らなかった 7% <p>計 100%</p>	<p>避難指示・勧告の対象区域と知らなかった 7%</p> <p>避難所に行った 5%</p> <p>自宅内で避難した 35%</p> <p>避難しなかった 53%</p>	
<p>兵庫県内外 (848人)</p>				<p>※出典：神戸新聞NEXT 2018/7/20 07:00 「自宅で避難 35% 豪雨の避難指示・勧告区域で本紙調査」 https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/201807/0011462083.shtml</p>		
7 神戸新聞	H30.7月	対面聞き取り	神戸市灘区 篠原台 51世帯 ※7/6夜に土石流発生地区。篠原台の209世帯を対象に実施。	<p>■ 避難勧告が出ていたと認識 20世帯 / 51世帯</p>	<p>■ 避難したきっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 土石流に気付いて 24世帯 / 51世帯 ※聞き取りの主な意見 「ゴゴゴーという音を聞いた」「水が滝のように流れてきた」など異変を察知 ● 消防隊員の声掛けで 19世帯 / 51世帯 ● 避難勧告を受けて避難 3世帯 / 51世帯 	<p>※聞き取りの主な意見 「今まで大きな土砂崩れがなかったから」「危なくなるまで待とうと思った」「避難指示になったら逃げようと思った」「妻の脚が悪いから」など</p>
<p>神戸市灘区 篠原台 (51世帯)</p>				<p>※出典：神戸新聞NEXT 2018/7/20 07:00 「自宅で避難 35% 豪雨の避難指示・勧告区域で本紙調査」 https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/201807/0011462083.shtml</p>		

19

住民の避難行動に係る各種アンケート調査の概要（7月豪雨）

調査主体	調査時期	調査手法	調査回答数	① 避難行動等	② 避難した理由等																						
8 山陽新聞	H30.7.28	面談方式	倉敷市真備町地区の被災住民100人 (男54人、女46人)	<ul style="list-style-type: none"> ●自ら避難した人 58人 ●第三者により救助された人 42人 <p>計 100人</p>	<p>■自ら避難した人の「避難行動のきっかけ」（3つまでの複数回答） [n=102]</p> <table border="1"> <caption>自ら避難した人の「避難行動のきっかけ」 (n=102)</caption> <thead> <tr> <th>理由</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>川の水位が上がった</td><td>18</td></tr> <tr><td>携帯電話のエリアメール</td><td>16</td></tr> <tr><td>雨が激しかった</td><td>14</td></tr> <tr><td>家の浸水が始まった</td><td>13</td></tr> <tr><td>防災行政無線など</td><td>12</td></tr> <tr><td>近所からの声掛け</td><td>10</td></tr> <tr><td>家族からの電話やメール</td><td>8</td></tr> <tr><td>テレビ・ラジオなどのマスコミ災害情報</td><td>5</td></tr> <tr><td>SNSなどインターネット災害情報</td><td>3</td></tr> <tr><td>その他</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>	理由	割合 (%)	川の水位が上がった	18	携帯電話のエリアメール	16	雨が激しかった	14	家の浸水が始まった	13	防災行政無線など	12	近所からの声掛け	10	家族からの電話やメール	8	テレビ・ラジオなどのマスコミ災害情報	5	SNSなどインターネット災害情報	3	その他	7
理由	割合 (%)																										
川の水位が上がった	18																										
携帯電話のエリアメール	16																										
雨が激しかった	14																										
家の浸水が始まった	13																										
防災行政無線など	12																										
近所からの声掛け	10																										
家族からの電話やメール	8																										
テレビ・ラジオなどのマスコミ災害情報	5																										
SNSなどインターネット災害情報	3																										
その他	7																										
<p>※ 山陽新聞社が、阪本真由美（兵庫県立大学）、松多信尚（岡山大学）、廣井悠（東京大学）とともに実施。</p> <p>倉敷市真備町 (100人)</p>				<p>③ 避難しなかった理由等</p> <p>■第三者に救助された人の「避難しなかった理由」（3つまでの複数回答） [n=79]</p> <table border="1"> <caption>第三者に救助された人の「避難しなかった理由」 (n=79)</caption> <thead> <tr> <th>理由</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>これまで災害を経験したことはなかったから</td><td>62</td></tr> <tr><td>2階に逃げれば大丈夫と思ったから</td><td>50</td></tr> <tr><td>外の方が危険だと思ったから</td><td>18</td></tr> <tr><td>道路が渋滞していて車が動かせなかったから</td><td>10</td></tr> <tr><td>パニックになり、どうすればよいか分からなかったから</td><td>8</td></tr> <tr><td>車などの移動手段がなかったから</td><td>5</td></tr> <tr><td>病気などで体を動かすことが困難だったから</td><td>5</td></tr> <tr><td>その他</td><td>4</td></tr> </tbody> </table>		理由	割合 (%)	これまで災害を経験したことはなかったから	62	2階に逃げれば大丈夫と思ったから	50	外の方が危険だと思ったから	18	道路が渋滞していて車が動かせなかったから	10	パニックになり、どうすればよいか分からなかったから	8	車などの移動手段がなかったから	5	病気などで体を動かすことが困難だったから	5	その他	4				
理由	割合 (%)																										
これまで災害を経験したことはなかったから	62																										
2階に逃げれば大丈夫と思ったから	50																										
外の方が危険だと思ったから	18																										
道路が渋滞していて車が動かせなかったから	10																										
パニックになり、どうすればよいか分からなかったから	8																										
車などの移動手段がなかったから	5																										
病気などで体を動かすことが困難だったから	5																										
その他	4																										
<p>※出典：山陽新聞digital 2018/8/11 14:03 「真備住民の84%「水害に備えず」、第三者に「救助された」42%、地域防災力の低さ露呈」 http://www.sanyonews.jp/article/766793/1/?rct=gou_from_okayama</p>																											